



図書館活用法



みなさんこんにちは。
この課題では、図書館活用法と題して、大学での勉強に欠かせない図書館資料の探し方について学んでいただきます。

はじめに：大阪大学附属図書館とは

阪大生の間だけ使える

情報・空間・サービスのサブスクシステム



大学における図書館とは、いわば、学生の間だけ使える情報・空間・サービスのサブスクリプション（使い放題）システムです。阪大生の特権として、ぜひ図書館を使い倒してください。

総合図書館（豊中）



生命科学図書館（吹田）



大阪大学の4つの図書館



理工学図書館（吹田）



外国学図書館（箕面）

大阪大学には4つの図書館があります。

豊中キャンパスにある総合図書館、吹田キャンパスにある生命科学図書館と理工学図書館、そして箕面キャンパスにある外国学図書館です。

学生証があれば、すべての図書館を利用することができます。また、よく利用する図書館に、他の図書館から資料を取り寄せることもできます。

阪大図書館の蔵書数は300万冊を超えており、全国の大学図書館の中でも上位に入ります。図書館の本棚を見渡せばきっと気になる本が見つかることでしょう。

はじめに：図書館の使い方



調べた情報をもとに本棚で資料を探す



PCやスマホで読みたい資料を検索



自動貸出機の右下に学生証を差し込んで貸出

図書館の使い方は簡単です。学生証があれば、図書館に入って本を借りることができます。

さらに、この課題では読みたい本を探して借りる方法はもちろん、それ以外の便利で役立つ図書館のサービスもご紹介します。

図書館を初めて使う人も、この課題が終わったら図書館の使い方をマスターできます。

はじめに：図書館と情報リテラシー

情報リテラシー
って…？



こうした能力
のことだよ！

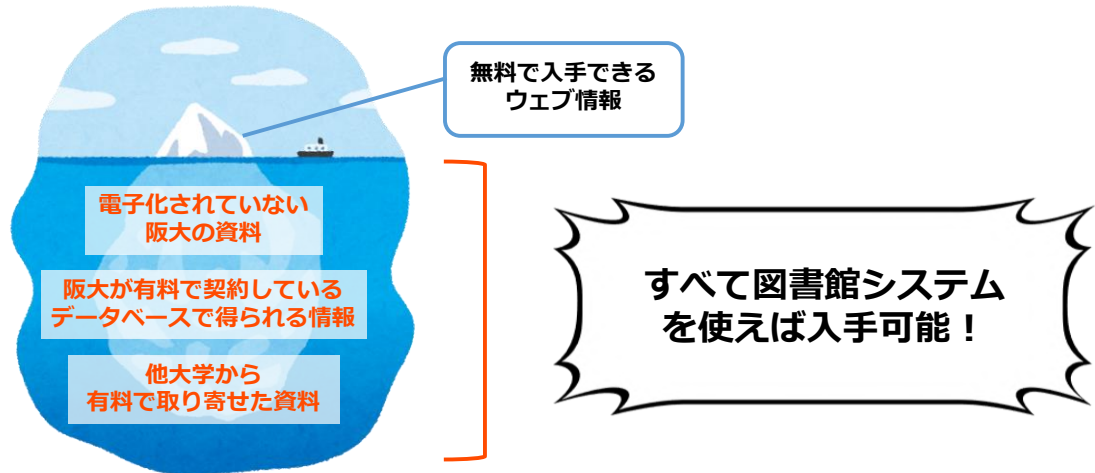


情報が必要であるという状況を認識し、
情報を効果的に探索・評価・活用する能力

出典：瀬戸口誠（2023）「情報リテラシー」 日本図書館情報学会編『図書館情報学事典』 丸善出版 p. 296-297

なお、この授業は情報リテラシー科目であり、情報リテラシーの習得が目標となっています。この課題を通じ、図書館というサブシステムを使って「情報を効果的に探索する能力」をまず身に付けましょう。

はじめに：卒論・修論に必要な情報



ウェブ上で手に入る無料の情報もありますが、図書館の資料・サービスを使いこなして多くの情報を手に入れてこそ、学術的に価値のある論文が書けるようになります。論文の目的は先行研究を踏まえて新しい知見を示すこと。どんな資料があるか、調べる方法を学んでいきましょう。

「はじめに」の動画はこれで終了です
第1章の動画に進んでください

はじめに おわり (ナレーション VOICEVOX:波音リツ)

「はじめに」の動画はこれで終了です。
第1章の動画に進んでください。